

家庭裁判所調査官 三浦 克文さん



今回のOB紹介は家庭裁判所調査官の三浦克文さんです。

三浦克文さん

平成五

合科学部情報行動科学プログラム（現行動科学プログラム）を卒業後、二度目の家庭裁判所調査官補I種試験で合格、調査官となる。現在は福山家庭裁判所に勤

心理系専門職なので、科学プログラムの人は特見！

カウンセリングはただ聴くだけ。

でもそれが難しい。

職業

Q. 家庭裁判所調査官とはどのようなお仕事ですか？

まず、簡単に説明すると、家裁調査官というのは、裁判官の命令を受けて当事者に面接して報告書を作るのが主な仕事

大きく分けて少年事件と家事事件があります。少年事件では、その少年が事件を起こした動年や家族、教師や雇い主と面接し、どんな処分が妥当かという意見を具申します。家事事件は、離婚や成年後見、遺産分割といった家庭

意見はほぼそのまま採用されることが多いです。だから責任はかなり大きいと言えますね。

なぜ家裁

るかという、成人と未成年では裁判をする目的が違う、ということ。まず、建前とし

く、その少年が二度と犯罪をしないために必要な教育的措置をとることが前提です。だからカウンセリングなどの技

ている悩みや葛藤、問題点を明らかにする必要があるわけ。大人の場合だと、こういう犯罪にはこういう刑罰を与え

ましよ。いるので、大人の裁判ではその犯罪をしようとしたとすれば、犯した被害の程度に対してどの程度の刑罰にするのかを判例

Q. 調査官の判断によって実際の刑の重さが変わるといことですか？

結論から言うと、調査官の

OB紹介

の中から選択すること
ます。だからはっきり言え
ば、事件の背景や家庭環境は
あまり重視されないのです
ね。

家事事件で言うと、全くの
他人同士の争いであれば法
論だけの問題ですが、家族親
族内の争い事は色々な感情が
入
割り切れないところもありま
す。だから、心理学などの専
門知識を持った調査官が間に
入って、感情的になっている
人たちに色々な働きかけをす
るなど、うまく解決できるよ
う調整するわけです。

**Q. 何か特別な資格はありま
すか？**

調査官になるために必要な
資格は特になく、家庭裁判所
調査官補一種試験に合格すれ
ば調査官になることができます

す。その試験は年齢制限があ
るのですが、心理学や社会
学の専門知識を問
の
で、大学である程度勉強して
合格後は、より専門
識を身につけるため二年間研
修所で研修を積むことにな
り、その後も定期的に研修を
受けていきます。

**Q. 法律は知らなくても大丈
夫なのですか？**

大丈夫です。調査官の仕事
れば良いので、基本的には
入ってから受ける研修だけで
十分ですよ。私も他の法律は
全くと言っていいほど知りま
せん。そもそも法律の専門家
は裁判官と書記官なので、法
律の、
せ
ことになります。

仕事談

**Q. 人の心
というのは精神的にきつくなっ
たりしませんか？**

確かに、なりたての頃はな
んとか力になってあげたい、
解決してあげたいという気持
ちが強かった分、うまくいか
ない時はつらかったですね。
無力感なんかを感じて。で
も、次第に、自分がその人の
ためにできることは
なの
なのだとは自覚し始めてから
は、それ区
よ

カウンセリングは、話を聴
くだけというのが原則です。
傾聴や非指示的面接などとい
う言い方をするのですが、た
だ話を聴くだ
れが難しいのですね。いろい
ろ事情を聞いてアドバイスし
たくなる気持ちをぐっとこら

えて傾聴に徹する。そうする
ことで、この人は説教せ
話を聴いてくれる、この人
だったらつい悩みを話したく
なる、と思ってもらせるよう
にもっていく。カウンセリング
の訓練というのは話を聴く
訓練なのです。

そうすると、人は話をして
いるうちに、勝手に解決策を
見つけてしまいます。「気づ
き」という言葉が用いられる
のですが、その「気づき」が
出てくるまで、批判も
アドバイスもせずに聴き続け
る。何か特別なことをしてい
るわけではなくて、ただ聴い
ているだけ。だから、自分は
たいしたことはで
いと、ある意味謙虚な気持ち
持てるようになってからは、
自然とつらさは減ってきました
たね。

家庭裁判所調査官 三浦 克文さん

Q. なぜこのお仕事を選ばれたのですか？

大学二年生の時までは本当に何も考えていなくて、兄が研究者を目指していた影響もあって、漠然と大学院に行こうかなというくらいにしか考えていなかったですね。

ところが三年生になって研究室に配属されて、いろいろと勉強を本格的にやるようになりしました。それはそれで面白いと

そのまま研究者

は、心理系の仕事に就いて実践の中で人の心理を勉強したいなと思うようになりしました。ちょうどそのころ先輩が調査官の試験を受けていた話を聞いて興味を持つようになりしました。

そして、中学校の教員をやっていた父にその話を何気なく話したところ、父が、生徒が起こした事件で知り合っ

た

それは、学校に火をつけて放火事件を起こしてしまったある知的障害の子どもの話です。その時担当した調査官は熱心に関わってくれて、父と一緒に家庭訪問を
に
なりました。そこは車でないと行けないような田舎だった
そうです

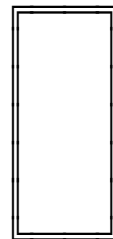
家

に車で帰ろうとしたところ、その調査官はそれを断って歩いて帰ると言い出しました。父は、歩いたら何時間もかかりますよと止めたのですが、調査官はその子がどんな気持ちでどんな思いをしながら学校に通っていたのか、同じ道を歩きながら考えていきますと言って歩いて行ったというのです。

この話を聞いて、ああこんな人

マンガやドラマの話だけじゃ

ないと感動して、絶対に調査官になりたいと思ったわけです。



Q. 行動科学プログラムは大変だという話を聞きますが？

確かに

大変で毎週必死でした。なんで行動系だけこんな思いをしなきゃいけないのかと思っていましたし。

しかし、今から思うとどうせ暇でもレポートを書くのは締め切りギリギリで、結果的に慌てたのですよ。むしろ、大変なことでも仲間内の団結力は高まり、文章力やプレゼン力もかなり鍛えられたので、行動系でよかったなと思っています。

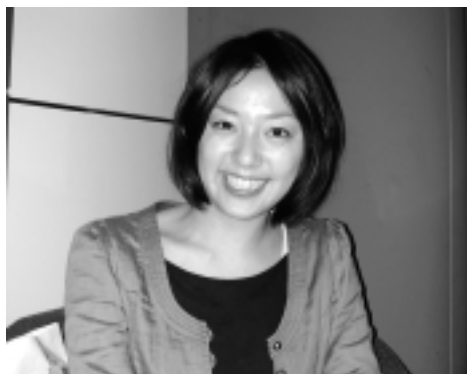
私の同期には東大京大、早



三浦さんが勤務されている福山家庭

慶といっ
多いのですが、入ってみて一緒に研修を受けてみると、えっ、このレベルなのって逆にびっくりすることもありました。行動
厳しかったですが、それだけ高い水準の教育を受けられたと実感しています。

JTB中国四国営業部 新中 裕子さん



今回のOG紹介はJTB中国四国、営業部で働く新中裕子さんです。

新中 裕子さん
平成十五年度入学、地域科学（現 地域文化）プログラムで日本文化について学ぶ。平成十九年に卒業し、JTB中国四国に就職。営業部で働く。

悩み迷った就活談や就職一年目のフレッシュな仕事話は特に必見！

職業

Q. どのようなお仕事ですか？

JTBが分社化して、地域単位の中国四国本社の営業部で働いています。中国四国内の店舗をまとめる部署で、各社の実績の分析や営業方針を決めて

キャンペーンを決めたり行ったり、そのためのツール、チラシやポスター等の準備もします。営業部は、法人営業と個人店頭営業の二つに分かれます。私は、一般のお客様がカウンターに行つて旅行を申し込むような、個人店頭営業のスタッフです。

Q. 支援は具体的にどのようなことをなさるんですか？

私は四月（二〇〇七年）に不在です。だから店頭スタッフを支援するということが多いが販売促進のための情報やシステム変更や改善の情報を店頭スタッフに発信しています。先ほど述べたキャンペーンのツールの配布もしてい

Q. キャンペーンも企画されるんですか？

中国四国域内だけで行うキャンペーンは、この部署で決めていきます。すぐクリエイティブというか、自分が良いと思う提案をしていけば、それを本当に実現できる部署なので恵まれています。だからその分、勉強

まだ半年なので、企画などまではできていないんですが、企画は自分から立ち上げなさいという雰囲気があるんです。新入社員だからこそ新しい意見、新鮮な意見を挙げてほしいと言われてますね。

Q. 今までを振り返ってみてどう

必死だったかな。やっぱりもう甘えが許されないというか。大学生の時とすごく差ありました。生活自体も朝きちんと起きて行かないといけません。生活に慣れるのに必死でしたか。今はた

Q. 仕事は慣れてきましたか？

私の部署の仕

広い範囲のことをしないと出来ないもので、初めての仕事ばかりで日々勉強です。先輩もそれを言うんです。自分も、毎日毎日、新しいことばかりで、だからそれについていけないといけないし、それを理解して支店に伝えないといけない立場なので、勉強が欠かせないですね。

就職活動

Q. この会社を選んだ理由、きっかけ、時期などを教えてください

たいと思うんですけど、就職活動をほとんどしていいますよ。企業が自分にあまり

合わないのではないかと思っていたことと、学校で勉強していたことが文化に関わることだったので、財団、と
ところで働
思っていました。

◆希望の職種から始まり迷いはじめ……

ただそうした職業は

受けてみようと思ひ、周囲の就職活動の波に乗ってとりあえず少しやってみました。二月頃になって、会社説明会などに行き、出版社を一社受けました。ですが、私り企業に向いてないなと思つて、企業への就職はやめようと思つ
たいという気持ちもあったので大学院に行こうかなと思つたり、ふらふらして、迷っていました。何がしたいのかよくわからなくて。

公務員
か

に行ったりして、準備するじゃないですか。でも私は市役所の試験の一ヶ月前に受けようと思ひ、一ヶ月ちよつと

甘くはなくて落ち、どうしようかなと。でも公務も

めで就職もなかったら、もう留年してもいいと思つていましたし、ピースボート(国際交流を目指すNG
界を回る)にすごく行きかけたので、乗ってしまおうと考えたりしていました。

◆迷っていたところJTB求人か……

そういうことを考えている時にJTBの求人がありました。旅行は好きですし、自分が関わっていくとしたら楽しい、店頭に来る人は自分の楽しみなことで来るので、それ

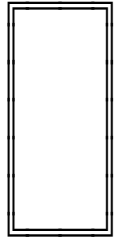
に携わっていけることはすごく
前から広い世界を見たいと思つていて、その割に度胸

ないんですが、そうしてお手伝いができることはすごく良いと思ひ、JTBに決めました。

◆四年間で自分のしたいことを探す

就職活動

ですね。本当にふらふらして、あつち
ちにいたり。なかなか自分のやりたいことがわからなく
ことまで見越していませんでした。大学でこれを勉強しようみたいな感じで入学して、その向こ
かったというか。四年の間に何かやりたいことなどを見つけるべきだったんだけど、私はそれができなくて、だからふらふらしてしまつたんですね。



Q. そうして会社に入ってから感じたことや戸惑ったことはありますか？

◆責任

ありきたりなことですが、新入社員だからといって許されないこともやはり といつか、その辺は厳しいですね。バイトをしていると、少し自分も社会 にな気になっていたんですが、バイトにもよりますけど、やはり責任が違うように感じています。

◆必要以上の甘さはない

入社式の初日から、「電話鳴ったら、出てね」みたいな感じで(笑)。ちゃんと研修をして職場に入るところもあります。私が、私たちはたまたま、研修の順番もあり、先に本社に入

りました。その二週間後に、

研

と行って教えてくれないというだけではなくて、教えて下さるんですけど、必要以上の甘さはないように思います。これをやってといわれたら、やり方は知らなくても、とりあえず自分でやらなければいけません。わからないことは分から聞くか調べます。といってもわからないことしかなかったんですけど。結果的に自分が間違った情報を発信し任になります。放任されているのではなく、上司の方にちゃんと面倒ところはきちんとチェックして頂いています。しかしなんでも自分の責任さないといけない。それはすごく感じていますね。



学生時代

Q. 地域科学プログラムの授業などはいに残っている授業などありますか？

◆責任

地域科学プログラムの授業はとても面白かったですね。私は日本文化を勉強しようと

の佐藤

の 佐藤 の ごく面白かったです。

日本文化の分野でいえば、例えば、三年生の時に実習に行く授業がありました。浅野先生という地理の先生の授業で、愛媛県宇和島市の段々畑の広がるところに行つたことはすね。歴史上の偉い人じゃなくて、一般の人の生活が段々畑などに残っているんです。私は味があつたんです。それに段々畑を守る会のおじいさん

達など、地元の人たちのかざらない性格にも魅かれて、印象的でしたね。

あと、私の卒論を担当して頂いた、日本史の佐竹先生もすごく知識が深くって、面白かったです。当たり前ですが、大学の先生って、本当に知識が深いでしょう。そういう先生の話を聞けることはとても幸せだと思います。大学へ入って、毎日過ごしていると、当たり前のような気がしますが、今考えたらすごく貴重なことだとも思います。その佐竹先生の「地域の環境史」は、自然と人の昔からの生活を見直すような面白かったです。その授業を受けて、佐竹先生に卒論の担当になってもらおうと思いましたが。

仕事と勉強

Q. 地域科学プログラムで楽しんでたくさん勉強されたようですが、仕事とはどのようなつながっていますか？

まず総合科学という考え方は、活かされていると思います。様々な

意識したり、いろんなことに興味を持つように心がけたり、これは総合科学部で勉強したおかげだと思います。

卒論のテーマと仕事は、直接は結びつかないですね。私が勉強した人と自然の関係は、「昔は良かった」という感じになりがちですが、昔の大変な苦勞をなくすために、今

の生活を作りあげてきたわけですね。というのは、先生の受け売りなんですが(笑)。昔と今は連

だから、民俗は今の時代にもあります。観光という面で言えば、今の生活や民俗を支援、活性化させるということ、強くしたことを踏まえて貢献できるかなと思います。

◆勉強したことを大切に

でもそれは、なかなか難しいかな。だからどちらかというと直接仕事に結びつくというより、旅行会社に身を置きながら、勉強したことを頭に入れて、よ

にしたいですね。でもそういう勉強をしたことは、観光に携

はりすごく大きかったと思います。だから仕事に活かせなくてもプライベートでもやっぱり、今まで勉強したことなどに興味を持ち続けていきたいように携われていけたらと

学生へ一言

学生生活では、出会いを大切にしたいと思えます。人との出会いも、本などとの出会いもそうですが、出会い

によって自分の視野も世界も広

生活で誇れることといえば、尊敬できる先生や友人との出会いに恵まれたことだと感じています。

進路を決める上では、自分で決めるということが大切なのかと思

い意味で逃げ道がない、なで、くじけそうな時も踏ん張れるのかなと思います。

後輩と言っても、広大生の活躍を見たり聞いたりすると、とても励

学の間にもこういうこともできただんだなと思つて、自分はのらりくらりすごしたなあつて反省することもあります。私も広大生に負けないよう頑張らないといけないですね。

仕事に活かせなくてもプライベートでもやっぱり、

今まで勉強したことなどに興味を持ち続けていきたい

(担当) 18生 荒川 洗一
(取材協力) 19生 桑田 雅美